

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		2011年 7月 26日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社 GSユアサ 代表取締役 依田 誠
環境マネジメントシステムの名称		ISO14001
適用範囲		京都事業所
導入年月日		1997年 12月 24日
認証番号		EC97J1151
基本方針		GSユアサグループ環境基本方針に基づき、当事業所の事業活動（バッテリーをはじめ、電源システム、照明機器等の開発・製造・販売）、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、技術的そして経済的に可能な範囲で、当事業所内の全階層において目的・目標、プログラムを設定し環境マネジメントシステム及びパフォーマンスの継続的改善を図り、汚染の予防に取り組む。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）		2010年度取り組み目標（抜粋） ①省エネルギー（CO2原単位）～2009年度比1%削減 ②上水使用量削減～2009年度比0.5%削減 ③下水排出量（原単位）削減～2009年度比0.5%削減 ④産業廃棄物～リサイクル率95.5%以上 ⑤製品開発・販売～次世代7ｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ車用電池の開発、電気自動車用急速充電スタンドの開発、省エネルギー「エコテラ」販売、LED生活道路灯モジュール
目標を達成するための取組の内容		①省エネルギー（CO2原単位）～コングレガの省エネ型置換え・台数制御運転、試験利用電力の回生、天井照明の省エネ機器化（省エネルギー「エコテラ」(弊社製)）、LED蛍光灯）、事務所照明の不要時消灯、空調使用抑制 ②上水削減～使用内容詳細調査による個別対応 ③下水（原単位）削減～循環水化の推進、社水の使用抑制 ④産業廃棄物～リサイクル処理ルート（処理会社）の利用。分別による排出抑制。 ⑤製品開発・販売～計画に基づく開発・販売進捗
目標を達成するための取組の進捗状況		①省エネルギー（CO2原単位）～予定通り省エネ設備・機器導入済。 ②上水削減～使用量メーター増設中。一部工程の上水を社水に置換え中。 ③下水削減～循環水化の推進中。 ④産業廃棄物～一部単純焼却・埋立処理廃棄物をリサイクル処理（業者）に置換え検討中。分別による有価物化により、排出抑制が行われている。 ⑤製品開発・販売～開発テーマは計画通り進捗。省エネルギー「エコテラ」販売は目標を達成。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価		①省エネルギー、②上水、③下水～省エネ設備・機器を導入したものの、夏の猛暑が逆風となり目標を達成することができなかった。 ④廃棄物～分別による排出抑制（含、有価物化）、リサイクル処理ルート（処理会社）の利用が進み、リサイクル率目標を達成した。 ⑤製品開発～当初計画どおりに取組むことができています。
事業活動に係る法令の遵守の状況		順守すべき法規制や規定などを定期的に見直し、モニタリング活動などを通じて、その順守状況を管理している。 2010年度は、環境汚染に直結する緊急事態が発生しなかった。また、環境関連の訴訟、罰金、過料なども発生していない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容		ISO14001に定めるマネジメントレビューにより、原則として毎年1回評価・見直しを行っている。平成23年度活動については、前年度の基本路線を踏襲しつつ、水準を上げる内容とした。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。